

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

成田市（区町村）地域公共交通計画の評価等結果（令和4年4月～令和5年3月）

| 目標 | 目標を達成するための取組 | 調査方法 | 達成状況・分析 | 評価・次年度に向けた課題や取組 | 備考 |
|---|---|----------------------|---|---|---------------------------------|
| 路線バス・コミュニティバス利用者数 600万人→650万人 ※しもふさ循環ルートを除く | バス待ち環境の改善（1箇所）や、イベントの開催、GTFS化による情報の公開などによる、公共交通計画に定められた、「利用しやすい公共交通の環境整備」、「公共交通の利用に向けた意識啓発の実施」、「誰もがわかりやすい情報提供の推進」を実現するための施策をとおしてバスの利用者増に取組んだ。 | バス事業者の有する乗降データを用いて計測 | 【令和4年度実績】 5,190,946人 元の数値である600万人を切る実績となったが、計画策定中に蔓延した新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の数値で目標を設定しているため、令和4年度の実績が落ち込むことは想定範囲内である。現在、利用者数は復調傾向にあるので、今後の利用者数増加を目指し、最終的に目標値を達成できるよう取り組んでいく。 | 今後の利用者数の復調と、取組み施策の効果を合わせ、目標値への増加を目指す。数値が戻らない場合には、現状に合わせ目標値を変更することも視野に入れる。 | |
| コミュニティバスの収支率の改善 21%→25% | 路線バスと重複している部分を始めとした、ルートの見直しを検討している。 | 委託バス事業者の有するデータを用いて計測 | 【令和4年度実績】 19% 元の数値である21%を切る実績となったが、計画策定中に蔓延した新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の数値で目標を設定しているため、利用者数が減少したことによる令和4年度の実績の下落は想定範囲内である。現在は利用者数が復調傾向にあるので、今後の増加による収支率改善に期待する。 また、本年度は路線バスと重複しているルートを削減する方針で見直しを進めており、経費の削減による収支率改善に向け、取り組んでいる。 | 今後の利用者数の復調と、取組み施策の効果を合わせ、目標値への増加を目指す。数値が戻らない場合には、現状に合わせ目標値を変更することも視野に入れる。 | |
| 公共交通に満足している人の割合 43.5%→50% | - | - | - | - | 計画最終年度である令和9年度に同様の設問でアンケートを実施予定 |
| バス待ち環境の改善 6箇所 | 交通結節点となる新生成田市場の開場に合わせ、ベンチ、屋根、風除け、案内サインといった設備を整え、バス待ち環境の改善を行った。 | 庁内関係課、交通事業者に照会 | 【令和4年度実績】 1箇所 ハード面的整備を意図した評価指標となるので、バス停単体での整備が難しい場合には、他の整備計画がある際に合わせて実施するなどし、着実に進めていく。 | 今後も整備計画のタイミングや利用者からの需要を見定め、働きかけを行っていく。 | |

| | | | | | |
|---|--|-----------------------|---|--|---|
| <p>総車両台数に占めるバリアフリー対象車両の割合 バス：68%→80% タクシー：18%→25%</p> | <p>バリアフリー対象車両の割合を集計し、現在の状況を把握するとともに、今後の導入促進に向け声掛けを行った。</p> | <p>庁内関係課、交通事業者に照会</p> | <p>【令和4年度実績】 バス：69% タクシー：25%</p> <p>バリアフリー対象車両の導入は進んでおり、タクシーについては目標値を達成した。バスは微増となったため、引き続き車両入替のタイミングなどでバリアフリー対象車両を導入していく。</p> | <p>新規車両導入の際は、バリアフリー対応車両を取り入れるよう声掛けを続けていく。</p> | |
| <p>利用促進に係る事業・イベントの数 5回/年→10回/年</p> | <p>バス事業者各々で行うイベントに加え、市で行うイベントなどでも連携し、積極的なイベント開催を実現させた。</p> | <p>庁内関係課、交通事業者に照会</p> | <p>【令和4年度実績】 10回/年</p> <p>成田市の空港立地などといった特徴を活用し、積極的に取り組み、目標値を達成できた。</p> | <p>市の継続的なイベントに加え、交通事業者の積極的な取り組みにより、目標値に到達できた。今後も引き続きイベント数の維持・向上させ、必要があれば更なる目標値の設定に向け計画変更も視野に入れる。</p> | |
| <p>ICT、デジタル化への対応数 3事業</p> | <p>国や民間事業者が主催する研修会や説明会に参加し、成田市に合うサービスの調査を進めている。</p> | <p>-</p> | <p>-</p> | <p>-</p> | <p>今後実施する事業であるため、現状値なし。 計画最終年度である令和9年度に実施予定</p> |

(記載に当たっての留意事項)

- ・ 本様式中、表題の「(〇年〇月～〇年〇月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果(議事録等)等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。